

# NPO法人自立生活センター板橋

第2期3カ年計画

平成23、24、25年度

原案版

# 第1期3カ年計画の実績と評価

## ◎経営方針について

この業界は、国と自治体の報酬により、運営費が決まってくる。

無駄な経費を削減し、収入面では3年間で1,500万円以上の純利益を目標に掲げる。

3年後は、年商7,000万円以上を目指す。

実績：

評価：

## ◎自立生活センターとしての当事者権限の強化について

現在、2名の当事者と、5名の常勤健常スタッフ、2名の非常勤健常スタッフとなっている。全体会議等における当事者権限の弱さが目立つ。そこで、当事者権限の強化に着手する。従業員に当事者2名を全面的に尊重させ、全体会議等のあらゆる場面においても当事者権限は絶対的なものとする。

また、健常スタッフ全員に「自立生活センター健常スタッフ研修」を受けさせる。

実績：

評価：

## 第1期3カ年計画の実績と評価

### ◎地域での当センターの役割について

「障がい者が経営する会社」ということを最大の売りに、区内並びにその周辺の学校関係者に周知させ、ヘルパーの人材育成に努める。これに大湯氏を担当に任命し、幅広く渉外活動を実行していく。また、自立生活センターならではの行政交渉と、利用者へのアプローチを強化する。介助者派遣から制度利用へのアプローチ、支給量増加のアプローチ等を促し、施設入所者以外すべての利用者が制度利用できるよう進めていく。

そして、各行事の参加目的は下記の通りとする。

①ボランティアフェスタの参加目的

会場は板橋本町というセンターに近いメリットを活かし、人材確保に努める。センター紹介及び、アルバイト、非常勤、常勤の募集チラシを配布する。また、人集めのための販売を行う。

②ふれあいまつりの参加目的

板橋区における巨大な福祉団体が主催するまつりへの参加、障害者自立支援事業の事業費の増額を目的とし、利益になるものを販売する。

### ③障がい者週間記念行事の参加目的

板橋区が主催する行事への参加、センター紹介及び、アルバイト、非常勤、常勤の募集チラシを配布すると同時に、普段から利用者が作っているを展示・販売する機会をつくる。

### ④クリスマス会の主催目的

設立当初から継続している当センターの一大イベント、地域への社会貢献が目的。クリスマス会をうまく運営することにより、やがてケアホーム運営へとつながっていく。

## ⑤利用者交流会の主催目的

1対1の派遣により、なかなか顔合わせできない利用者同士を年に一度、食事会、カラオケ、ボウリング、花見 等を開催することにより、利用者間の交流の場をつくる。

実績：

評価：

# 第1期3カ年計画の実績と評価（理事長構想）

◎当センターが目指すもの

障がい者が経営する、障がい者・高齢者のためのホームヘルプサービスと、障がい者のためのケアホーム運営の両立を最終到達地点とし、これを「理事長15年構想」と制定する。よって、下記の通り今後3カ年の重要課題におく。最大目標「仲良しサークルはつくりたくない、会社組織をつくる。」



## ・ 3年間かけて取り組む課題

- ⑥会社のルール作りとマニュアル化。
- ⑦徹底的な利益追求。無駄な経費の削減。
- ⑧当事者スタッフに必要な企業研修受講の強化。
- ⑨全従業員の徹底的な意識改革（服務規律・秘密保持厳守の強化、当事者の権限と尊重の強化、サービスの質の向上の強化、研修の強化）
- ⑩人員配置の適正化。

⑪経理事務の強化。（弥生会計の一本化、  
給与計算ソフトの導入等）

⑫セキュリティの強化。

⑬事業の縮小と拡大の実施。（養成・調理研修の  
事業縮小、介護保険参入の準備）

⑭ローテーションコーディネーターの確立。

⑮株式会社化の検討

評価：

実績：

# 第1期3カ年計画の収入の実績

# 第1期3カ年計画の支出の実績

# 第1期3カ年計画の利益の実績

## 第2期3カ年計画

### ◎経営方針

- ・無駄な経費を削減し、収入面では安定的な年間500万円以上の純利益を目標に掲げる。
- ・前期目標では達成できなかった年商7,000万円以上を着実に目指す。

## ◎従業員教育の更なる重点課題に

- ・ 新人研修を重点に置き、外部の社会人マナー研修、ケア福1の重度訪問研修等を受けさせる。
- ・ 当事者研修の構築。中田さんがその業務にあたる。
- ・ 職員研修、アルバイト・事務の個人面談方式の継続、更なる工夫を凝らす。

## ◎人材確保への工夫と斬新なアイデア

- ・ヘルパーの人材確保のため求人強化。(ハローワーク、人材センター、学校、口コミ等)
- ・きっかけづくり。女性ヘルパー確保のためイベントにおけるボランティア受け入れ。
- ・実習生の受け入れ検討。



## ◎広告の強化

- ホームページの強化。→→→中田さんへ
- ロゴマーク、パンフレットの見直し。
- 地下鉄、東武東上線、国際工業バスへの車内  
広告・アナウンス、駅広告の検討。

## ◎地域貢献

- ・より地域に根付くという観点から、地域での買い物、地域での食事といった福利厚生の拡充を図っていく。

## ◎福祉貢献

- ・ボラフェス、ふれあいへの恩返し、協賛金または寄付金の検討。
- ・電動車椅子サッカー東京都大会への広告掲載。

## 第2期3カ年計画

### ◎会社整備

- ・事務所の美化。模様替えを実施後、継続的に美化を目指す。

- ・就業規則、給与体系の改定 社労士委託。  
→→→目標23年度中。

### ◎アパート経営

- ・ケアホームに向けて予行練習。社宅をつくる。  
→→→目標23年度中。

◎レスパイト事業の新たなる展開 →→→  
目標 25 年度中。

・ケアホームに向けて予行練習。お泊まり経験を増やす、利用者さんのご家族の要望に応じて夜間対応。

◎株式会社化への事業一部転換

・収益事業を株式会社へ検討。 →→→ 目標 23 年度中。

# 第2期3カ年計画 収支予算

